

108TH SEMINAR ON IMMUNE SYSTEM DEVELOPMENT

PROF. JANKO NIKOLICH-ZUGICH

PROFESSOR AND CHAIRMAN, DEPARTMENT OF IMMUNOBIOLOGY
CO-DIRECTOR, ARIZONA CENTER ON AGING
BOWMAN PROFESSOR OF MEDICAL RESEARCH
UNIVERSITY OF ARIZONA

ALTERED T-CELL HOMEOSTASIS IN AGING: VICTIM OR VILLAIN?

17:30-18:30 MONDAY, JUNE 15

疾患ゲノム研究センター1F会議室

免疫システムの司令塔であるT細胞が、バランスよく多様なレパトアを維持することは、終生にわたる有効な感染防御能を保つために重要である。老化及びそれに伴う感染の繰り返しによってT細胞がどのように変容するか、斯領域の研究においては国際的な第一人者であるNikolich-Zugich教授を迎えて特別セミナーを開催いたします。多数のご来聴をお待ちしております。

Nat Rev Immunol. 8:512-522, 2008.

Aging Cell. 7:908-919, 2008.

PNAS USA. 104:19960-19965, 2007.

PNAS USA. 103:19448-19453, 2006.

J Exp Med. 201:837-840, 2005.
1358, 2004.

J Exp Med. 200:1347-

Nat Rev Immunol. 4:123-132, 2004.

Science. 298:1797-1800, 2002.

本セミナーは大学院医科学教育部特別講義を兼ねます。

問い合わせ先：疾患ゲノム研究センター遺伝子実験施設(大学院医科学教育部免疫系発生学)
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)

蔵本は免疫がアツい

徳島大学基因组研究中心遺伝子実験施設第百八回特別講演会